

数理・データサイエンス・A I 教育強化拠点コンソーシアム
四国ブロック拡大ブロック会議議事次第

日 時 令和4年10月7日（金） 16：30

場 所 J Rホテルクレメント高松 3階「飛天東」

議 題

1. 四国ブロックの運営体制について
 - ・四国ブロック会議議長選任
 - ・運営会議幹事校選任
 - ・四国ブロック事務局
2. 四国ブロックの事業計画について
 - ・四国ブロック総会の開催
 - ・ワークショップの開催
 - ・セミナー等の開催
 - ・運営会議の開催
 - ・四国ブロック運営方針
3. 会員校の拡大について
4. その他

報 告

1. 各大学の取り組み状況について
2. その他

配付資料

1. 出席者名簿
2. 徳島大学報告資料【資料1】
3. 鳴門教育大学報告資料【資料2】
4. 愛媛大学報告資料【資料3】
5. 高知大学報告資料【資料4】
6. 香川大学報告資料【資料5】

数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム四国ブロック
拡大ブロック会議出席者名簿

日 時 令和4年10月7日(金)

場 所 JRホテルクレメント高松3階飛天東

国立大学

機関名	所属等	職名	氏名
徳島大学	理工学部	教授・副理事	寺田 賢治 (遠隔参加)
	教養教育院	准教授	大藪 進喜
	デザイン型 AI教育研究センター	助教	瓜生 真也
	学務部教育支援課	副課長	齋藤 京子 (遠隔参加)
鳴門教育大学	高度学校教育実践専攻	教授	宮口 智成
愛媛大学	大学院理工学研究科	教授	平野 幹
	大学院理工学研究科	教授	尾國 新一 (遠隔参加)
	データサイエンス センター	教授	本田 理恵 (遠隔参加)
	大学院理工学研究科	助教	高橋 裕子 (遠隔参加)
高知大学	理工学部門	教授	佐々 浩司
	理工学部門	教授	三好 康夫 (遠隔参加)
	理工学部門	教授	野村 昇
	学務部学務課	課長補佐	西村 宜浩
	学務部学務課	全学・共通教育係員	阿賀 優
香川大学	大学教育基盤センター	センター長 教授	高橋 尚志
	大学教育基盤センター	副センター長 教授	林 敏浩
	大学教育基盤センター	数理情報・ 遠隔教育部長 教授	宮崎 英一
	大学教育基盤センター	特命講師(数理DS)	藤澤 修平

公立大学

機関名	所属等	職名	氏名
香川県立 保健医療大学	保健医療学部 看護学科	教授	比江島 欣愼
高知工科大学	情報学群	教授	吉田 真一
	データ&イノベーション 推進室	准教授	佐伯 幸郎

私立大学

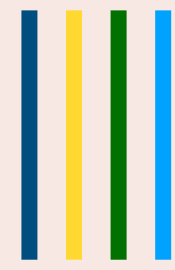
機関名	所属等	職名	氏名
四国大学	経営情報学部	教授	池田 充郎 (遠隔参加)
徳島文理大学 (香川キャンパス)	理工学部電子情報工学科	教授	山本 由和
	教務部教育研究支援課	教務部副部長 准教授	細川 典宏
高松大学	学長		佃 昌道

陪席者

機関名	所属等	職名	氏名
文部科学省	高等教育局専門教育課	課長補佐	木谷 慎一

機関名	所属等	職名	氏名
四国経済産業局	地域経済部 製造産業・ 情報政策課	課長	松坂 茂
	地域経済部 製造産業・ 情報政策課	情報産業係長	橋本 舟

機関名	所属等	職名	氏名
香川大学	大学教育基盤センター	副センター長 共通教育部長 教授	寺尾 徹
	大学教育基盤センター	調査研究部長 教授	野村 美加
	大学教育基盤センター	能力開発部長 教授	松本 洋明
	大学教育基盤センター	センター専任 准教授	西本 佳代
	大学教育基盤センター	センター専任 准教授	蝶 慎一
	大学教育基盤センター	特命講師(DRI)	小坂 有資
	教育・学生支援部	部長	藤沢 博伸
	教育・学生支援部 修学支援課	課長	角田 圭美
	教育・学生支援部 修学支援課	課長補佐	澤井 直樹
	教育・学生支援部 修学支援課	事務補佐員	松本 梨央
	教育・学生支援部 修学支援課	事務補佐員	萬木 理恵



数理・DS・AI教育における 徳島大学の取り組み



徳島大学マスコットキャラクター

とくぽん

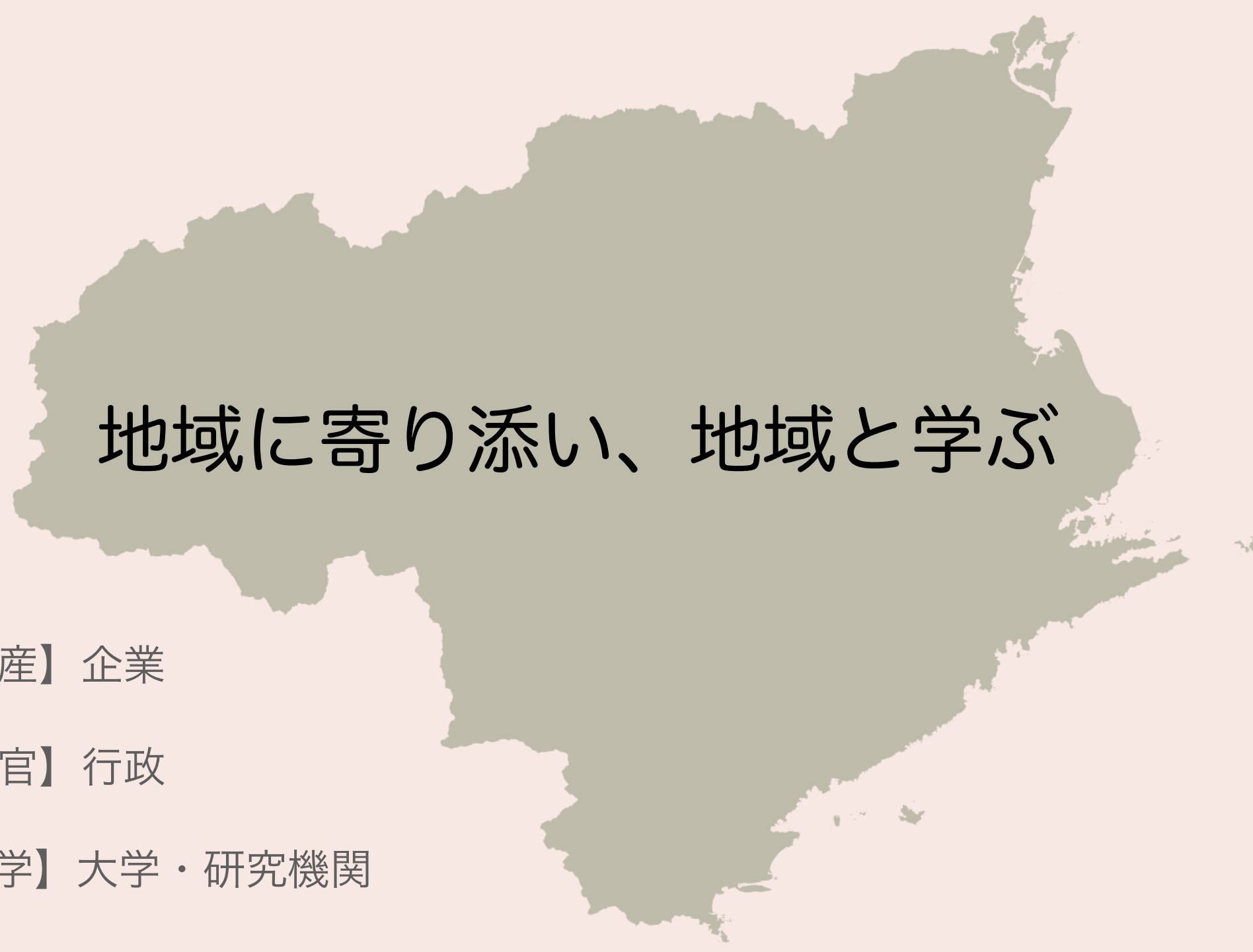
瓜生真也・大薮進喜・寺田賢治（徳島大学デザイン型AI教育研究センター）

<https://www.tokushima-u.ac.jp/ai/>

徳島大学 デザイン型AI教育研究センター

2020年4月設置

構成員数… 23名（客員准教授、技術員含む）



地域に寄り添い、地域と学ぶ

【産】 企業

【官】 行政

【学】 大学・研究機関

◆ 教育推進

AI・データサイエンスの教育と応用状況を俯瞰しつつ、地域のニーズなどにあわせたAI教育プログラムの開発を主導する。

◆ 研究開発

企業等の研究課題に対して、AIによる解決のアプローチを示す。また、AIの応用研究に関するシンポジウムなどの開催を主催する。

◆ 社会実装

AI・データサイエンスの教育研究と応用状況を俯瞰しつつ、地域のニーズなどにあわせたAIの社会実装を主導する。

徳島大学 第4期中期計画・ミッション実現戦略

事業名 「数理・データサイエンス・AI教育の推進と、AIに基づく教育DXシステム整備」

徳島大学 第4期中期目標期間における「ミッション実現戦略」概要

徳島大学の第4期中期目標期間における Vision

徳島大学では、社会の変化やSDGsの課題に対応し、持続可能でインクルーシブな社会、多様性にあふれる社会の実現に向けて、理系に強みを有する本学の特徴を活かし、教育・研究を充実・強化するとともに、先端医療の推進や産学官連携を通じて地域創生をリードする。

また、自立的な経営体としての大学を目指し、多様な財源の確保等により、安定的な経営を実現する。

社会との共創	教育	研究
◆地域エンゲージメントの構築 ◆地域課題解決のための共創と地域人材育成 ◆産官学連携を通じた地域創生への貢献	◆社会ニーズの急速な変化に即応し、知識集約型社会の未来を切り拓く人材育成 ◆学生の多様化と学生目標に立った学生支援の充実 ◆新時代に即した新たな高大連携・高大接続と入学者選抜の構築	◆Society5.0社会の実現、SDGs達成に向けた最先端研究と萌芽・独創的研究の推進 ◆新領域の開拓や産学連携によりイノベーションを創出する若手研究者の育成 ◆各研究所の研究インフラの高度化と、国内外の大学・研究機関等との組織的連携

第4期中期目標期間におけるVisionに基づき、中期目標・中期計画(ミッション)を実現させるための戦略(プロジェクト)を実施します。

＜第4期中期目標・中期計画＞

社会との共創		教育		研究	
中期目標[1]	中期計画[1-1][1-4]	中期目標[5]	中期計画[5-1][5-2]	中期目標[8]	中期計画[8-1]
人材養成機能や研究成果を活用して、地域の産業の生産性向上や雇用の創出、文化の発展を牽引し、地域の課題解決のために、地方自治体や地域の産業界等をリードする。	■多様な学びの場の提供と、地域人材の育成 ■地域課題解決のための共創実践とオープンイノベーションの活性化	特定の専攻分野を通じて課題を設定して探索するという基本的な思考の枠組みを身に付けさせるとともに、視野を広げるために他分野の知見にも触れることで幅広い教養も身に付けた人材を養成する。(学士課程)	■数理・データサイエンス・AI人材の養成 ■イノベーション教育、アントレプレナーシップ教育を充実させた人材養成	真理の探究、基本原理の解明や新たな発見を目指した基礎研究と個々の研究者の内在的動機に基づいて行われる学術研究の卓越性と多様性を強化する。併せて、時代の変化に即して必要な資源を確保する。	■新領域を切り拓く最先端基礎研究と、萌芽・独創的研究の戦略的推進
中期目標[2]	中期計画[2-1]	中期目標[6]	中期計画[6-1]	中期目標[9]	中期計画[9-2]
我が国の持続的な発展を志向し、目指すべき社会を見据えつつ、創出される膨大な知的資産が有する潜在的可能性を見極め、その価値を社会に対して積極的に発信することで社会からの人的・財政的投資を呼び込み、教育研究を高度化する					

徳島大学 第4期中期計画・ミッション実現戦略

◇ 学内におけるAI教育の推進

文部科学省・経済産業省・内閣府が推し進めるAI戦略に沿った授業プログラムの設計

◇ 教育DX

学修データの管理と分析… 学内における組織・体制づくり

学内教育システムの整備

◇ 地域におけるAI教育の推進

小中高生向けのAIについて知識・理解を深めるための場

社会人向けのコンテンツの拡充

◆ 数理・データサイエンス・A I 教育プログラム認定制度

リテラシーレベル 今年5月に申請、8月に文部科学省より認定を受ける
プログラム名 「データサイエンス学修プログラム」



授業題目	情報科学入門	データサイエンスへの誘い
	全学必修（1年次）	選択必修
審査項目への対応	①、④、⑤	①～⑤



2021年度からデータサイエンスの要素を取り入れる
センター教員を中心に教科書を執筆、教材として利用
2021年度（初年度）実績 … 228名の修了者

数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）の要件		
<5つの審査項目と、モデルカリキュラムの対応箇所>		
項目	審査項目	モデルカリキュラム対応箇所
項目①	数理・データサイエンス・A Iは、現在進行中の社会変化（第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等）に深く関与しているものであること、また、それが向うの生活と密接に関わっているものであること。	導入 1-1. 社会で起きている変化 1-6. データ・AI利活用の最新動向
項目②	数理・データサイエンス・A Iが対象とする「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得ること。	導入 1-2. 社会で活用されているデータ 1-3. データ・AIの活用領域
項目③	様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、数理・データサイエンス・A Iは様々な活用領域（流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等）の知見と組み合わせることで価値を創出するものであること。	導入 1-4. データ・AI利活用のための技術 1-5. データ・AI利活用の現場
項目④	ただし数理・データサイエンス・A Iは万能ではなく、その活用にあたっての様々な留意事項（ELSI、個人情報、データ倫理、A I社会原則等）を考慮することが重要であること。	心得 3-1. データ・AI利活用における留意事項 3-2. データを守る上での留意事項
項目⑤	実データ・実課題（学術データ等を含む）を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、扱う」といった数理・データサイエンス・A Iの基本的な活用法に関すること。	基礎 2-1. データを読む 2-2. データを説明する 2-3. データを扱う

◆ 数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度

応用基礎レベル 申請準備中（来年度より実施、再来年度に申請を予定）

機械学習、深層学習の基礎と展望、実践的な演習を含んだ「AI演習」（仮）を
新規科目として開設予定

数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム
認定教育プログラム要素との対応関係

プラン	データ表現とアルゴリズム	データサイエンス基礎	AI・データサイエンス実践
A	情報科学入門	データサイエンスへの誘い	各学部・学科での演習科目等
B	情報科学入門	AI演習	AI演習

◆ 研究活動

◇ 月例AI研究勉強会

2021年度は11回実施（オンライン開催）
毎回約30~40名程度が参加
講師は学生を含む学内外から募集



◇ 学修データ分析についての調査・研究

学校ICTを推進するClassi株式会社の開発本部長
伊藤徹郎氏を客員准教授として任用

発表者			研究課題名
高等教育研究センター	助教	油井 毅	オンラインデザイン思考ワークショップの評価の試み
病院・放射線医学分野	助教	松元 友暉	ジストニア・運動異常症のための定量的動作解析ポータブルデバイスの開発とMRIを用いた統合的評価ワークフレームの開発
大学院社会産業理工学研究部・知能工学分野	講師	伊藤 伸一	深層学習を用いた新たな動作認識のための基盤研究〜手話認識への応用〜
大学院医歯薬学研究部・医用画像機器工学分野	助教	児島 雄志	深層学習を用いたパラメタの推定による逐次画像再構成法

◇ 人流データの分析

専任教員の瓜生の研究課題
位置情報ビッグデータと統計的機械学習手法を用いた分析

◆ 地域への貢献、社会実装

◇ とくぽんAI塾

県内の小中高生を対象に

「デザイン型思考」、高校「情報I」の素養を学ぶ場を提供



カリキュラム（コース）内容	
2022年は、以下の6つのコースを準備しています。習熟度に応じてコース取得が可能です。	
デザイン思考入門	仮想空間デザイン入門Ⅰ・Ⅱ
世の中の課題を見つけ、問題解決するためのデザイン型思考を身につけます。すべての塾生に受講していただきます。特別講座（開催日未定）も受講してください。 受講条件：塾生全員 担当講師：北岡和義 先生、ほか	Minecraftをつかって自分のアイデアを形にしたり共同作業にチャレンジします。デザイン思考入門を終了した人向けです。電子回路の基礎も学びます。 受講条件：塾生全員 担当講師：北岡和義、谷岡広樹 先生
プログラミング入門Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	Webデザイン入門Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
スクラッチやビスクエットをつかって、役に立つプログラミングにチャレンジします。デザイン思考入門を終了した人向けです。各回の内容は異なります。 受講条件：塾生全員 担当講師：谷岡広樹 先生、ほか	HTMLやJavaScriptを学んで、役に立つWebデザインにチャレンジします。プログラミング入門を終了した人向けです。各回の内容は異なります。 受講条件：タイピングができる人 担当講師：関藤介、谷岡広樹 先生
データ分析入門	AIデザイン入門
R言語をつかって、デザイン思考でデータ分析にチャレンジします。プログラミング入門を終了した人向けです。統計的な考え方を学びます。 受講条件：タイピングができる人 担当講師：瓜生真也 先生	Pythonをつかって、デザイン思考でAIをプログラミングします。プログラミング入門、データ分析入門を終了した人向けです。 受講条件：タイピングができる人 担当講師：石田基広 先生



https://uribo.github.io/tokupon_ds/

◇ 阿波っ子AI塾

徳島新聞社が発行する子ども向け新聞でのセンター教員による連載

◇ 四国オープンイノベーションワークショップ

11月開催、場所はあわぎんホール（徳島市）

産業技術総合研究所四国センターとの共同開催

リカレント教育の強化を計画

社会人向けコースを後期に開催

講座番号

R104

定価

10

ビジネスに役立つデータ分析
(入門編)

日時

木曜日
10:30~12:00

11/10|11/17|11/24|12/1
12/8|

全5回

受講料

6,000 円

講師

瓜生真也

講座の概要

身近なデータを題材に、データの見方を学びます。データを要約し、グラフで表現することで、意外な特徴を発見し、意思決定につなぐことができるようになります。また必修化された高校教科情報Ⅰの内容を学ぶこともできます。

各自で、テキストの購入必須
別紙☆テキスト一覧表参照



数理・データ科学・AI教育プログラム(リテラシーレベル)

概要 鳴門教育大学に入学した全学生が1年生前期の必修科目「基礎情報教育」(2単位)を履修する。この科目は計15回の講義(木曜日)と、計15回の実習(火曜日)から構成される。火曜日の実習は2クラス(各60名程度)に分かれて実施する。

講義

木曜1限

① 情報機器の基礎的な扱い(情報セキュリティなどを含む)を習得し、② データ分析やプログラミングの基礎とその背景(AIやデータ科学)を理解する。

実習

火曜1限
火曜2限

講義で学んだことを基礎にして、コンピュータ等を用いた実習を行う。グループワークや、プロジェクト学習なども取り入れ、各教科の授業実践において適切に活用できるようになることを目指す。

プログラム修了要件

鳴門教育大学学校教育学部1年次の必修科目「基礎情報教育」(2単位)を取得すること

プログラムの特徴

- 情報・情報教育・教育工学・数理科学をそれぞれ専門とする教員が授業を担当することで、多角的な視点を学ぶことができる。
- モデルカリキュラムに準拠しながらも、将来学校教員になる学生に適した「数理・データ科学・AI教育」を構築している。
- 必修科目であるため履修率は100%である。
- 対面授業の実習では、2クラス(約60名 x 2)に分け、さらに各クラスを2つの端末室に分けることで少人数体制を実現している。
- オンデマンド授業では、実際の授業時間に質問を受け付ける反転授業を実施している。

活動状況 (鳴門教育大学)

「基礎情報教育」：授業概要

- 学部 1 年次の必修科目
- 受講者数約 120 名
- 2 単位 30 回 (週 3 コマ)
 - 講義 15 回
 - 実習 15 回 (2 クラスに分けて実施)
- 情報・情報教育・教育工学・数理科学を専門とする教員が担当
- 昨年度 (2021 年度), 統計やプログラミングに関する内容を大幅に増やして実施.
- 今年度 (2022 年度), (学生の自己データを用いた) テキストマイニングや, 簡単な WEB スクレイピングの活動を導入.

申請状況

- 「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度 (リテラシーレベル)」に申請中
- 数理 DS コンソーシアムの会員校へ申請中

シラバス

講義 (15 回)

- (1) 情報リテラシー
- (3) 大学の情報システム
- (5) 学校と ICT
- (7) 情報セキュリティ
- (9) レポート作成入門
- (11) 思考と表現
- (13) データサイエンス入門 1
- (15) データサイエンス入門 2
- (17) データサイエンス入門 3
- (19) データサイエンス入門 4
- (21) 教育と AI
- (23) 子どもたちの情報環境
- (25) ICT 関連の法律 1
- (27) ICT 関連の法律 2
- (29) プロジェクト 発表会

実習 (15 回 × 2 クラス)

- (2) 情報環境利用実習 1
- (4) 情報環境利用実習 2
- (6) 図書館の利用
- (8) ワードプロセッサの利用
- (10) プレゼン資料の作り方
- (12) 校務情報化実習
- (14) データサイエンス実習 1
- (16) データサイエンス実習 2
- (18) データサイエンス実習 3
- (20) データサイエンス実習 4
- (22) プログラミング 1
- (24) プログラミング 2
- (26) プロジェクト 1
- (28) プロジェクト 2
- (30) プロジェクト 3

データサイエンス入門・実習 (鳴門教育大学)

講義内容 (講義 4 コマ + 実習 4 コマ)

- 第 1 章: 社会と教育における変化
 - ☐ 仮説駆動とデータ駆動
 - ☐ データに基づく思考や判断
 - 第 2 章: データ科学とは?
 - ☐ 統計学・計算機科学とデータ科学
 - ☐ AI・機械学習・倫理
 - 第 3 章: データ分析の基礎
 - ☐ データとは?
 - ☐ 代表値・散らばりの指標・関係性の指標
 - 第 4 章: 可視化
 - ☐ 可視化の必要性
 - ☐ 量の表現・割合の表現・分布の表現・関係性の表現・系列の表現
 - 第 5 章: データ分析実習
 - ☐ 問を立てよう・統計量と可視化
 - ☐ 機械学習に挑戦・データ分析の実践
- 第 1～4 章が講義, 第 5 章が PC を用いた実習. 詳細は講義 HP を参照:
<http://mygch.g2.xrea.com/DS/ds.html>

事業報告①
四国における
数理・データサイエンス・AI教育の
“これまで”

平野 幹(愛媛大学データサイエンスセンター)

数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム
四国ブロックキックオフシンポジウム
(於 JRホテルクレメント高松)
2022年10月7日(金)

大学の数理及びデータサイエンスに係る教育強化

2019年度予算額(案) 9億円
(前年度予算額 6億円)
※国立大学法人運営費交付金の内訳

- 拠点大学(6大学)による文系理系問わない全学的な数理・データサイエンス教育及び拠点大学で形成するコンソーシアムによる標準カリキュラム・教材の作成を実施し、全国の大学へ普及・展開。
- 数理・データサイエンス教育の全国展開を加速化するため、協力校の設置による教員不足の解消等に取り組むとともに、産官学による推進体制を整備し、**全ての学生が数理・データサイエンス教育を受けられる環境の構築に向け必要な取組を推進。**



＜① 拠点大学とコンソーシアムにおける取組の着実な推進＞(継続)
○ 文系の学生に対しても実装可能なものを含む、複数のレベルを想定した標準カリキュラム(スキルセット、参照基準(注))を開発し、全国の大学へ展開
○ 全国の大学で活用できるオンライン教材を開発
○ 各拠点大学において全学的な数理・データサイエンス教育を先行的に推進

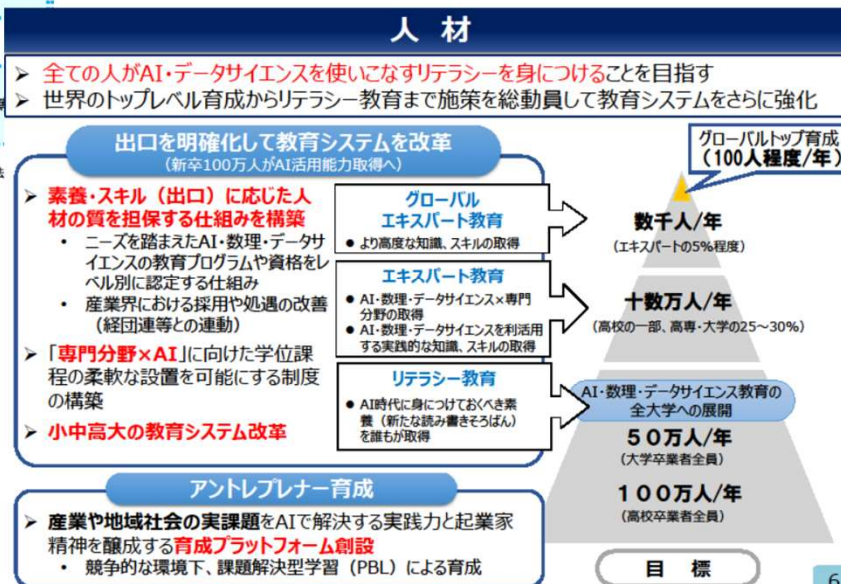
＜② 協力校の設置による全国の大学への普及・展開の加速化＞(新規)
○ 協力校の設置により、標準カリキュラムを活用した複数のレベルを想定した数理・データサイエンス教育モデルの構築や、教えることのできる教員を増やすための地域の核となったFD活動を実施
＞ 文系の学生向けなど複数のレベルに対応した実践モデルの構築
協力校において、拠点大学及びコンソーシアムの成果を活用し、数理・データサイエンス教育を自大学の体系的な教育の中に取り込む
・ オンライン教材と演習等を組み合わせた授業の構築
・ 全学教育と専門基礎科目・専門科目の連携等を考えながら自大学の教育へのカスタマイズを実施
・ 上記取組の成果をコンソーシアムにフィードバックし、他大学にも活用可能な実践モデルとして蓄積
＞ 地域の核となったFD活動、指導への立ち会い等を通じた人材ネットワークの拡大
数理・データサイエンスを教えることのできる教員を増やすため、拠点校と連携したFD活動や、大学横断的な人材交流等を実施
・ 拠点校に加え協力校において、他学部・他大学の教員や学生等に、数理・データサイエンス教育の専門的な指導に立ち会える機会を提供し、数理・データサイエンス教育人材エコシステムを構築
・ 上記取組の成果をコンソーシアムにフィードバック

＜③ 数理・データサイエンス教育の認定の仕組みの構築＞
○ 産業界のニーズを踏まえた教育プログラムの認定により、採用活動における学修成果活用等へつなげる仕組みの構築に向け、プログラム認定の仕組みや採用活動等ける活用の在り方について検討

※2019年度予算(案)のポイント(文部科学省)
平成31年1月30日 科学技術・学術審議会総会(第61回)参考資料1より抜粋
(注) スキルセット:理解している必要がある基本的な項目を羅列したものの参照基準:スキルセットそれぞれの項目についてすべての学生が身につけるべき基本的な素養や、学修成果の評価方法

愛媛大学の事業 「データサイエンス教育の全学的な展開と 四国地区への普及促進」

愛媛大学は「大学の数理及び
データサイエンスに係る教育強化」
における「協力校」に選定
(2019年度～2021年度)



※平成31年1月31日 政府全体の技術戦略
について(内閣府)より抜粋

数理・DS・AI教育強化の取組(2019-2021)

愛媛大学の協力校(第1期)事業名
「データサイエンス教育の全学的な展開と
四国地区への普及促進」

ミッション 1

低年次共通教育科目
「データリテラシー入門」の開設

成果指標

事業最終年度の単位認定者数

600名

(1学年全学生数1770名)

ミッション 2

DS教育ノウハウを
四国4県の各大学に展開

成果指標

普及大学数

8校

愛媛大学の協力校として取組(2019-2021)

2 0 1 9 2 0 2 0 2 0 2 0 2 1

ミッション 2

DS教育ノウハウを
四国4県の各大学に展開

成果指標

普及大学数

8校

ミッション 1

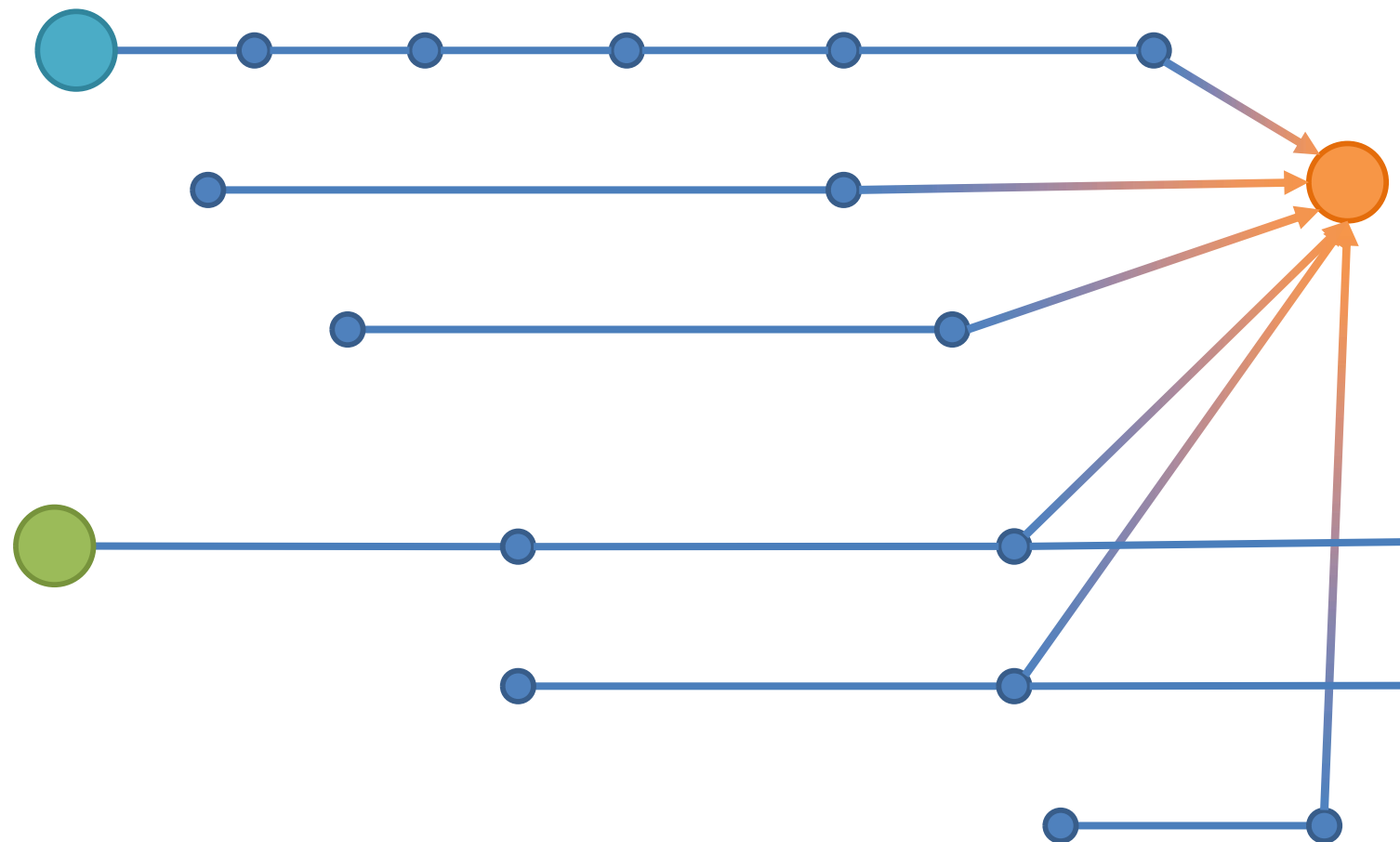
低年次共通教育科目
「データリテラシー入門」の開設

成果指標

事業最終年度の単位認定者数

600名

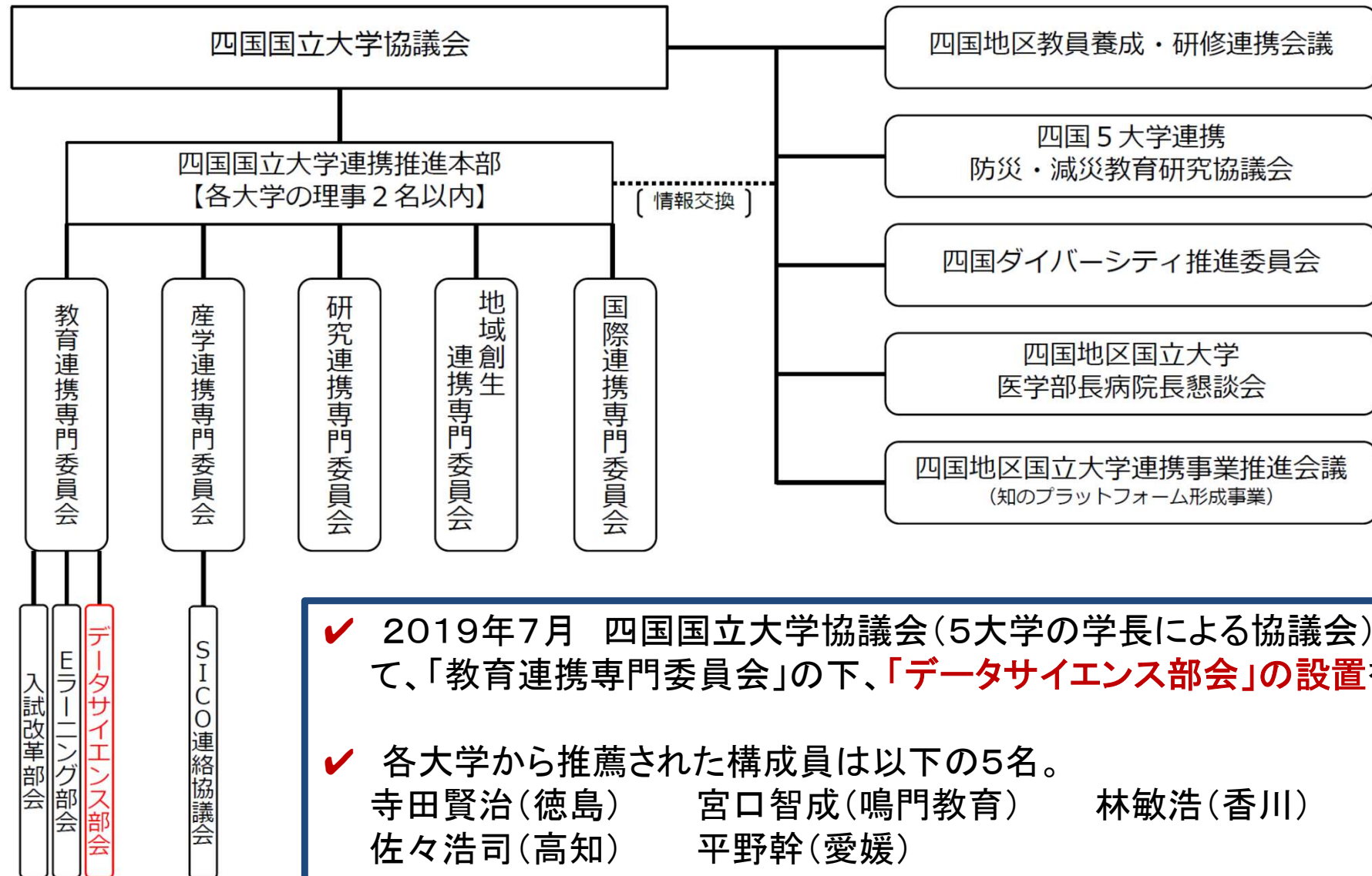
(1学年全学生数1770名)



数理・DS・AI教育強化の取組(2019-2021)



四国5国立大学の連携体制



✓ データサイエンス部会では、各大学におけるデータサイエンス教育の実施や四国全域に展開するための方針などを中心に協議するとともに、愛媛大学がコンソーシアム協力校として得た情報の共有を行うなど、それぞれの大学の事情を勘案しつつも、一体感を持って四国におけるデータサイエンス教育の強化に取り組んだ。

✓ コロナ禍にもかかわらず、**3年間で合計5回開催**した。議題は以下の通り。

- 2019.10
 - 1. 各大学におけるDSリテラシー教育の検討・実施状況および要望
 - 2. 四国全域に展開するための方針について
- 2020.02
 - 1. 来年度のDSリテラシー教育に向けた各大学の現況報告
 - 2. 今後の展開に際しての教材(教科書・スライド・e-Learningjなど)
- 2020.07
 - 1. 各大学における現況報告
 - 2. DSリテラシー教育の内容・教材について
 - 3. DSリテラシー教育の普及について
- 2020.12
 - 1. 各大学における現況報告
 - 2. DSリテラシー教育の内容・教材について
 - 3. DSリテラシー教育の普及について
- 2021.08
 - 1. 中四国ブロック会議報告
 - 2. 数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(リテラシーレベル)について
 - 3. 各大学における現況報告
(各回の最後に「その他」としてコンソーシアム関係の情報共有を行った)



✓ データサイエンス部会とは別に、全国に向けてコンソーシアムや愛媛大学の取組を発信し、数理・データサイエンス教育の普及に関する情報を共有することを目的とした「愛媛大学データサイエンス教育セミナー」を毎年開催した。

愛媛大学データサイエンス教育セミナー

日時：令和元年 8 月 29 日(木) 10:30～12:00

会場：松山市文京町 3 番

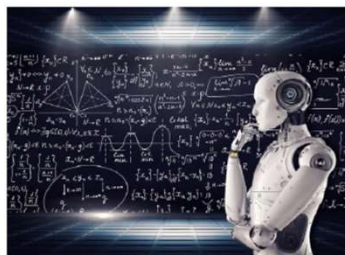
愛媛大学城北キャンパス 共通講義棟 B 4 階 法科大学院演習室③

問合せ：089-927-9553 (DS 事務補佐員・戸井)

平成 31 年 2 月に発表された文部科学大臣の高等教育・研究改革イニシアティブ（柴山イニシアティブ）において、《数理・データサイエンス教育の全学部学生への展開》が方針として打ち出されています。愛媛大学は、文部科学省の「大学における数理・データサイエンス教育の全国展開」の協力校に認定されたことを受けて、未だるべきデータサイエンス全員教育の時代にさきがけて、今年度より低年次向けデータサイエンス教育を実施しています。

このたび、上述の内容をテーマとしたデータサイエンス教育セミナーを開催いたします。数理科学・情報科学の教育にかかわる皆さまをはじめ、広く大学教育にかかわる皆さまのご来聴をお待ちしております。

愛媛大学データサイエンス教育部会



Picture Licensed under CC BY

← 第1回

2019.08.29(木)

10:30～12:00

会場：愛媛大学(対面)

参加者数60名

第2回→

2020.12.23(水)

16:00～17:30

zoomオンライン開催

参加申込者数136名

第2回

このたび、昨年度に続き第2回目の愛媛大学データサイエンス教育セミナーをオンラインで開催いたします。今回は実際のリテラシー科目の授業の様子もご紹介いたします。数理科学・情報科学の教育にかかわる皆さまをはじめ、広く大学教育にかかわる皆さまのご聴講をお待ちしております。

愛媛大学 データサイエンス 教育セミナー

申込締切
12/18(金)
12:00

令和元年 6 月に内閣府統合イノベーション戦略推進会議によって策定された「AI戦略2019」において、「文理を問わず、全ての大学・高専生（約50万人卒/年）が、課程にて初級レベルの数理・データサイエンス・AIを習得する」ことが具体目標として打ち出されています。愛媛大学は、平成31年1月に文部科学省の「大学における数理・データサイエンス教育の全国展開」の協力校に認定されたことを受けて、未だるべきデータサイエンス全員教育の時代にさきがけて、低年次向け教育を実施しています。



2020年12月23日(水) 16:00～17:30
オンライン開催 Zoom(300名)

内 容 文部科学省、コンソーシアム、愛媛大学などにおける取り組みの紹介、リテラシー科目の授業紹介

定 員 先着300名

参加費 参加無料、事前登録制

参加登録 事前登録制としています。参加を希望する方はQRコードもしくは下記URLよりお申し込みください。
<https://forms.gle/ExnshykoqAWAGuX8>
(登録締切12/18)
※定員先着300名となっております。

問合せ先 愛媛大学データサイエンスセンター（石川・越智）
cdse@stu.ehime-u.ac.jp

主催／愛媛大学データサイエンスセンター
<http://www.cdse.ehime-u.ac.jp/>

愛媛大学 データサイエンス

数理・DS・AI教育強化の取組(2019-2021)



- ✓ 愛媛県内におけるデータサイエンス教育の普及に関する取組は2段階で行った。
- ✓ 2019年度：愛媛県内最大の私立大学である**松山大学**と協議を開始。
「メディア・リテラシー」を新規開講。
また、**放送大学愛媛学習センター**とも協議。
「統計の初歩とデータサイエンス」を本学教員担当で開講。
- ✓ 2020年度：「県内大学意見交換会」をオンラインで開催。
「データサイエンス部会」と同様、各大学等の現況や方針などについての意見交換やコンソーシアムや愛媛大学の取組などについての情報提供を通じて、担当者間の交流を深めた。
参加大学等：
 - 松山大学**
 - 松山東雲女子大学・松山東雲女子短期大学**
 - 今治明德短期大学**
 - 弓削商船高等専門学校**
 - 新居浜工業高等専門学校**



✓ 2021年度末に開催した「第3回愛媛大学データサイエンス教育セミナー」は、**協力校ミッション2の締めくり**としての位置付け。文科省・大阪大学(中四国ブロック拠点校)・愛媛大学における取組紹介のほか、「データサイエンス部会」を構成する四国国立大学の事例報告、四国にある私立大学等との意見交換、などを行った。

第3回

このたび、一昨年度・昨年度に続き3回目の愛媛大学データサイエンス教育セミナーをオンラインで開催いたします。
今回は本学が開発したe-ラーニング教材も紹介します。既にデータサイエンス教育に取り組んでおられる方々はもちろんのこと、関心はあるが手付かずという方々も含め、専門家・非専門家を問わず広く大学教育にかかわる皆さまのご聴講をお待ちしております。

愛媛大学 データサイエンス 教育セミナー

申込締切
1/17(月)
12:00

令和元年6月に内閣府統合イノベーション戦略推進会議によって策定された「AI戦略2019」において、「文理を問わず、全ての大学・高専生（約50万人卒/年）が、課程にて初級レベルの数理・データサイエンス・AIを習得する」ことが具体目標として打ち出されています。愛媛大学は、平成31年1月に文部科学省の「大学における数理・データサイエンス教育の全国展開」の協力校に認定されたことを受けて、自大学における教育拡充に加え、他大学への普及促進にも積極的に取り組んでいます。

データ・AIと社会

この動画のAIの定義

オンライン開催
2022年1月19日(水) 13:00~16:00

内 容 文部科学省、コンソーシアム、愛媛大学などにおける取り組みの紹介、他大学でも利用可能なe-ラーニング教材の紹介等

開催方法 オンライン開催（先着300名） 参加無料、事前登録制

申 込 事前登録制としています。
参加を希望する方はQRコードもしくは下記URLよりお申し込みください。
<https://forms.gle/QK1B3p5Y2oFwZLN7>（登録締切 1/17(月)12:00）

主催／ 愛媛大学データサイエンスセンター **問い合わせ** 愛媛大学データサイエンスセンター（石川・西岡）
E-mail: cdse@stu.ehime-u.ac.jp
H P : <http://www.cdse.ehime-u.ac.jp/>

← 第3回
2022.01.19(水)
13:00~16:00
zoomオンライン開催
参加申込者数159名

数理・DS・AI教育強化の取組(2019-2021)



愛媛大学の協力校として取組(2019-2021)

2 0 1 9 2 0 2 0 2 0 2 1

四国国立大学データサイエンス部会

愛媛大学データサイエンス教育セミナー

県内大学との協議

ミッション 2

DS教育ノウハウを
四国4県の各大学に展開

成果指標

普及大学数

8校

ミッション 2 の成果

- ✓ 2022.08までにリテラシーレベル認定を受けた四国の大学等
愛媛大・香川大(2021)
徳島大・鳴門教育大・高知大・四国大・四国短大
香川高専・新居浜工業高専・高知工業高専(2022)
- ✓ 2022年度までにリテラシー授業を提供した四国の大学
松山大・東雲女子大
- ✓ 情報交換や協議を行った四国の大学等
多数

数理・DS・AI教育強化の取組(2019-2021)



ミッション 1

低年次共通教育科目
「データリテラシー入門」の開設

成果指標

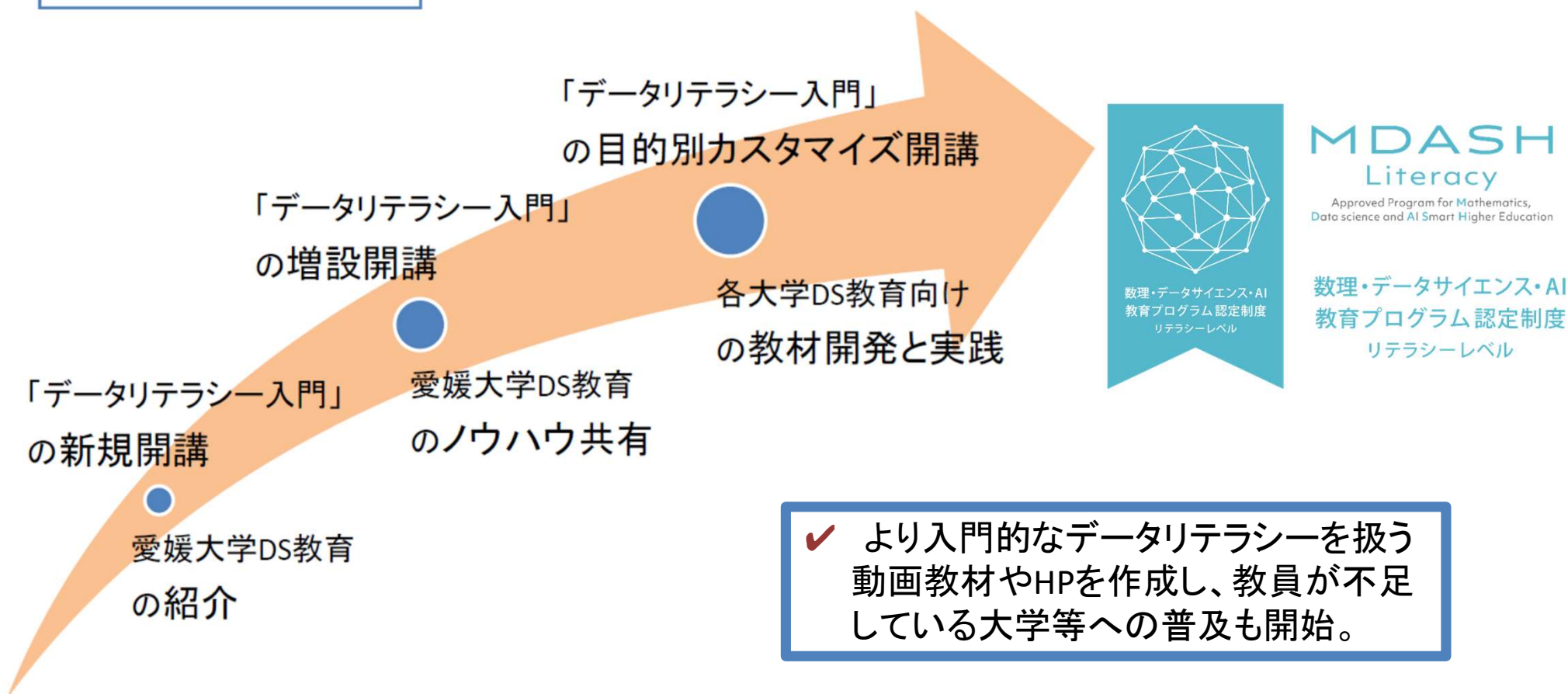
事業最終年度の単位認定者数

600名

(1学年全学生数1770名)

ミッション 1 の成果

- ✓ データリテラシー科目**877名単位認定**(2021年度)
成果指標を超える約半数を認定
- ✓ 愛媛大学ICT/DS/AI教育プログラム(リテラシー)が
「**数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度**
(リテラシーレベル)に認定
- ✓ 現在は受講者の目的別に**カスタマイズ**して開講



- ✓ より入門的なデータリテラシーを扱う
動画教材やHPを作成し、教員が不足
している大学等への普及も開始。

数理・DS・AI教育強化の取組(2019-2021)



愛媛大学
EHI ME UNIVERSITY



「データリテラシー入門」の教材

一般的に用いられる就職率の定義は、
就職率= 就職(内定)者数/就職希望者数
です。
この定義によれば、令和2年度の愛媛大の就職率は、 $1359/1382 = 98.3\%$ となります。

ところで卒業生数1854人の内訳は、「就職」1359人、「進学」376人、「その他」116人です。
「その他」とは何でしょうか？ それを知るにはまず注釈を探すこと。2つ記載があります。

就職：学校基本調査を基に作成。在学中すでに職に就いている者で、卒業後も引き続きその職にある場合は就職者として計上している。
その他：就職未内定者、公務員受験準備者、教員受験準備者、留学希望者、資格取得希望者

「その他」は、就職でも進学でもない人です。
就職を希望しているものの就職先が見つからない人(1382-1359=23人)は就職未内定者として「その他」に含まれているようです。つまり「その他」に含まれる人には、就職先が見つからない人以外も含まれている、ということになります(119-23=96人)。この関係をベン図(集合を学んだときに使った図)で表してみましょう。

愛媛大学共通教育2022-20(本1) 数学入門(データリテラシー入門)

令和2年度卒業生の進路状況

卒業生	法文学部	SSC	計
卒業生	398	13	1,854
就職希望者数	345	9	1,382
進路状況			
就職	3	9	1,359
進学	5	3	376
その他	46	1	119

2-5

(2) 認証バイアス 自分の思い込みで受け取る情報を選択していないか？ 伝聞に注意せよ。

4参考2-7

より入門的な「データリテラシー」教材

動画でわかる!

データ・AI リテラシー

こんなところに
データ・AIが使われている？

身近なところにたくさんのデータ・AIが使われています。
あなたはどの場面に遭遇したことがあるでしょうか？

事例集を見る →

#遊び #学び #生活

CASE 01

内閣支持率の調査 #生活

テレビでよく見る「内閣支持率」。支持しているかどうかを国民全員に質問していないように思うのですが…。どのようにして支持率を測っているのでしょうか？

支持率は37%なのね。
あれ、でも私はアンケートされていない…。
これって信じていいの？

CASE 04

テストの平均点 #学び

テストが返されると、自分の点数に一喜一憂しますよね。平均点と比べて「だいたい真ん中の順位かな」と思っていたのに、結果は真ん中より下でがっかりしたことはありませんか？

やったー！
平均点を越えたから真ん中より上位！
…えっ、違うの？

CASE 06

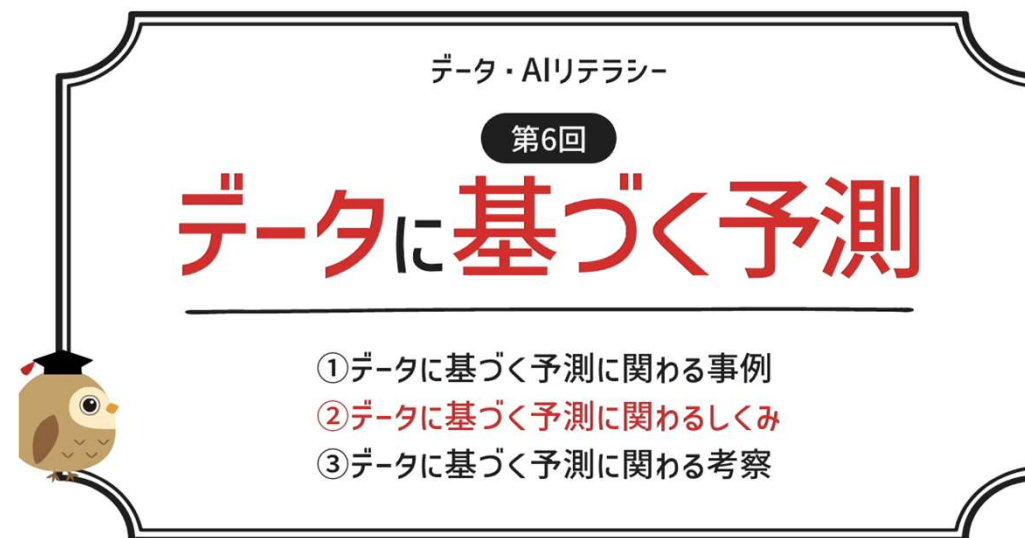
写真加工アプリ #遊び

顔写真の年齢や性別などを変化させることができるアプリで遊んだことがありますか？ところで当たり前のように遊んでいるこのアプリの仕組みを不思議に思ったことはありませんか？

ねえ、見て見て！
お姉ちゃんの顔が
お母さんそっくりになってる！不思議！

<https://www.cdse.ehime-u.ac.jp/cdsemovie/index.html>

「データリテラシー」動画教材の例



愛媛大学の協力校として取組(2019-2021)

2 0 1 9 2 0 2 0 2 0 2 0 2 1

四国国立大学データサイエンス部会

愛媛大学データサイエンス教育セミナー

県内大学との協議

愛媛大学「データリテラシー入門」の開講

愛媛大学ICT/DS/AI教育プログラム

入門的なデータリテラシー教材開発

ミッション 2

DS教育ノウハウを
四国4県の各大学に展開

成果指標

普及大学数

8校

ミッション 1

低年次共通教育科目
「データリテラシー入門」の開講

成果指標

事業最終年度の単位認定者数

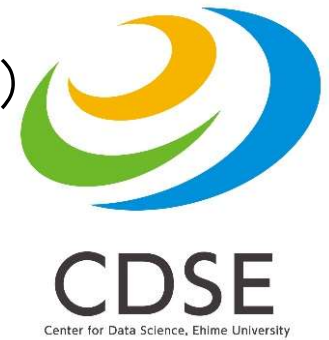
600名

(1学年全学生数1770名)

数理・DS・AI教育強化の取組(2019-2021)



愛媛大学データサイエンスセンター (Center for Data Science, Ehime University; 略称 CDSE)



愛媛大学ではCDSEを2020年4月に設置

データサイエンス(DS)分野についての教育・研究・社会連携
のすべてにわたる機能を強化することがCDSEの目的

<https://www.cdse.ehime-u.ac.jp/>



CDSEメンバーは71名

【数理・統計】29名(1) 【情報・AI】17名(3) 【応用・実装】25名(1) ※括弧内は専任教員数(内数)

愛媛大学データサイエンスセンター(CDSE)



愛媛大学
EHIME UNIVERSITY

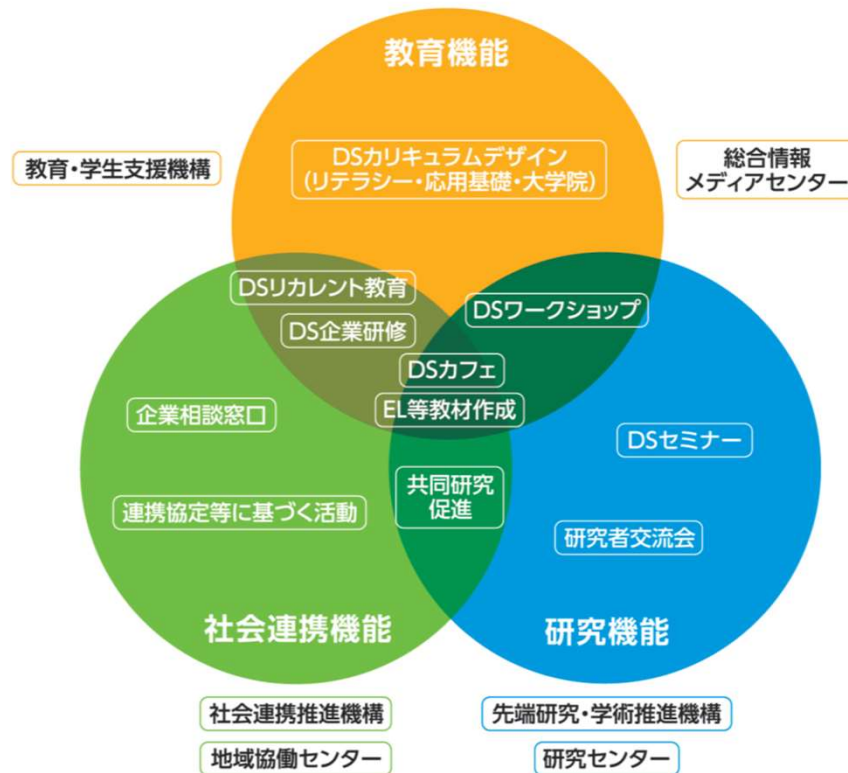




CDSE
Center for Data Science, Ehime University

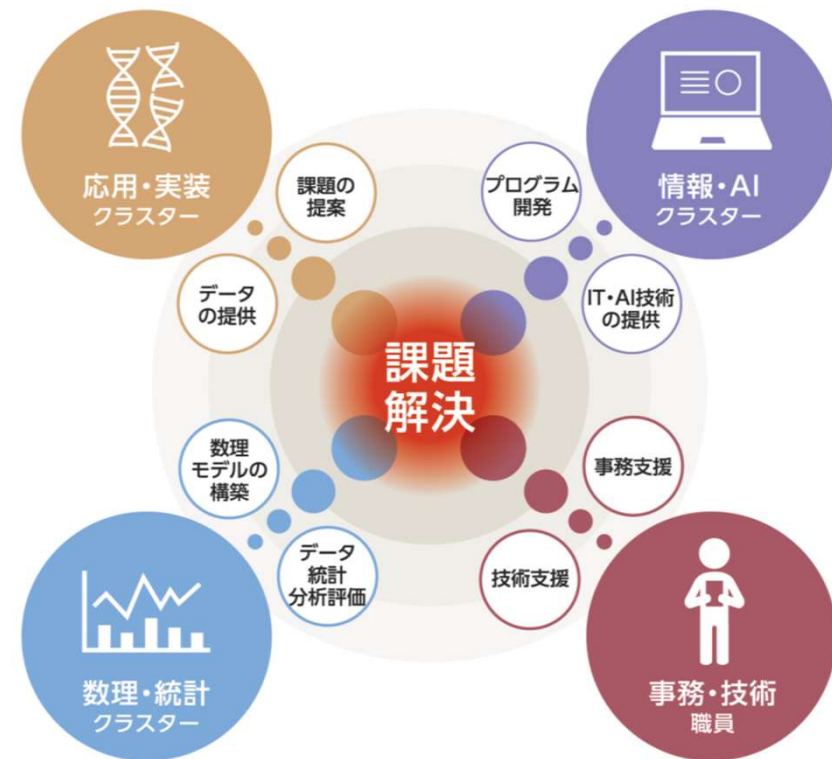
設置目的

DS分野の機能強化による
本学教育研究力の向上
地域の活性化への寄与



活動理念

1. 全学体制で活動
2. 時代の変化に対応
3. 専門性と協働性を重視



教育・研究・社会連携活動



研究

- ✓ 数理/DS/AIに関連した様々な研究分野について紹介DS研究セミナーをほぼ月1ペースで開催中
- ✓ 高度人材育成、異分野協働、研究交流などに資することを期待
- ✓ 参加申込者数は毎回およそ150～250名程度



社会連携

- ✓ 愛媛県、松山市をはじめとする地方自治体、県下金融機関、地元企業、県下高等学校などと連携
- ✓ 共同研究・委託事業の実施、地域の人材育成を目指したセミナーや講演会の企画・実施など

第19回
**DS愛媛大学
研究セミナー**

愛媛大学データサイエンスセンター(CDSE)は、AI・統計・解析・機械学習等の広範でのデータサイエンスと接点のある研究者、実務家、教育者を学内外から招聘し、講演していただくデータサイエンスセミナーを開催しています。

日時 2022年
8/4(木)16:30~18:00

定員 先着300名
※Zoom定員先着300名・YouTube同時配信

参加費 無料 ※オンライン開催・事前登録制

申込方法 事前登録制
申込方法 <https://forms.gle/vz2jPit7a4Mwncps5>

申込締切 8/2(火)12:00

講演者/小森 政嗣 氏
(大阪電気通信大学 情報通信工学部 教授)
『データから探る感性の心理学』

CDSE
Center for Data Science, Ehime University

教育

- ✓ 本学学生向けの正規授業実施のほか、リカレント教育や大阪大学を中心に組織された「西日本アライアンス」による合同PBLにも参加
- ✓ 松山市・地域企業と連携した「データサイエンティスト育成講座」も毎年開催中

DATA SCIENTIST

**データサイエンティスト
育成講座2022**

受講費
無料

応募締切 2022.8.9(火)13:00



ステークホルダーへの広報



このたび愛媛大学データサイエンスセンターのニュースレターを創刊いたしました。創刊号ではこれまでの様々な活動の様子と今後の予定をお届けいたします。どうぞご覧ください。

～愛媛県立松山南高等学校と高大連携の覚書締結～調印式を行いました

2022年6月1日(水)、本センターと愛媛県立松山南高等学校は、データサイエンス分野において連携協力して高等学校教育と大学教育との円滑な接続を図るため、覚書を締結しました。

この覚書は、データサイエンス分野についての教育の充実及び教員の資質・能力の向上のため、連携協力して活動を行い、データ活用により地域を支える人材の育成を図ることを目的としています。調印式では愛媛県立松山南高等学校の池田哲也校長と愛媛大学データサイエンスセンターの平野幹センター長による覚書への署名と記念撮影が行われました。

松山南高校では、普通科の全生徒が学校設定科目「データサイエンス」において課題研究に取り組んでいます。企業との共同研究をはじめとして各種科学系コンテストで高い評価を得るなど、全国でも先駆的なデータサイエンス人材の育成に取り組んでいます。2021年度には、新課程での統計・DS教育を担う教員向け講習会を共同で開催するなど、幅広く人材育成を進めています。

本覚書の締結により、高度な研究活動に触れる機会や課題研究での教育支援などを提供し、松山南高校生徒の教育環境の一層の充実を目指すとともに、愛媛大学における全学的データサイエンス教育のさらなる高度化に取り組む予定です。



平野センター長の挨拶



池田校長の挨拶



双方代表者による署名



覚書の手交



列席者全員による記念撮影

Center for Data Science, Ehime University 2022.SUMMER.Vol.1

広報活動

- ✓ HP開設はもちろん「CDSE Newsletter」やtwitterなどのSNSにより情報発信中
- ✓ 「愛媛大学データサイエンスみらい基金」によりステークホルダー諸氏からも支援





データをエネルギーに。



愛媛大学データサイエンスセンター

ご清聴ありがとうございました



高知大学における 数理・データサイエンス教育 の現状紹介

佐々浩司

高知大学 データサイエンスセンター長

・高知大学リテラシーレベル数理・データサイエンス 教育プログラム(共通教育内)

文部科学省リテラシーレベル認定



MDASH
Literacy
Approved Program for Mathematics,
Data science and AI Smart Higher Education,
designated by the Gov of Japan

情報処理(初年次必修科目):

2/15コマ分のオンライン講義, 内容は導入・心得

A群: さわってわかるAI講座 ～基礎理論からクラウドサービス
を使った実践まで～: (導入・心得・基礎)

DXとビジネス創出 (導入・心得) ←2科目とも高知県からの寄付講義

B群: データ活用のためのプログラミング入門 (基礎)

データサイエンス実践課題演習 (基礎) ←大阪大学MMDSとの共同PBL

データサイエンスセンター

2022年10月1日発足

専任教員 3 名 (2名新規採用) + 兼任教員で構成

主なミッション：リテラシーレベルの必修化
部局毎の応用基礎レベル
カリキュラムの構築
県内他大学との連携



香川大学活動報告



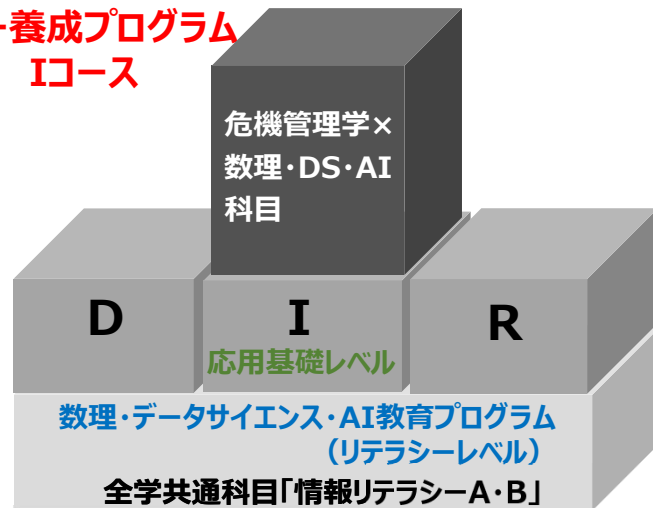
香川大学 大学教育基盤センター
数理情報遠隔教育部 宮崎英一

香川大学 数理・データサイエンス・AI教育の全国展開の推進 概要

事業名称：「危機管理学×数理・データサイエンス・AI」による応用基礎力教育モデルの展開と普及
 事業の概要：香川大学における数理・データサイエンス（DS）・AIに係るリテラシーレベル・応用基礎レベルの教育プログラムに「危機管理学×数理・DS・AI」科目を加えて、数理・DS・AIの応用基礎教育モデルの展開と普及を図る。

<具体的な取組内容・方法>

DRIイノベーター養成プログラム Iコース



e-Learning科目



成果指標（連携大学への普及）

- ◆リテラシーレベル：四国内高等教育機関
- ◆応用基礎レベル：四国国立5大学

数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム



2022/10/07



四国ブロック拡大プロジェクト会議

応用基礎レベル

- ◆DRI（デザイン思考、リスクマネジメント、数理・情報）能力の育成
 - ・創造工学部を中心に平成30年度（学部設置時）から展開
 - ・全学展開のためネクストプログラム「DRIイノベーター養成プログラム」を令和2年度に開始。
 - ・危機管理学×DS科目群、データに関する倫理、工学・農学・医学等各領域におけるデータ活用の事例等
 - ・令和4年5月MDASH Advanced Literacyの認定



リテラシーレベル

- ・全学部の1年生を対象にした必修科目。情報リテラシーBはe-Learning科目。文系理系の専門分野に関わらず、データサイエンスの基礎を理解する。
- ・令和3年8月MDASH Literacyの認定

連携大学 (四国内)

5 国立大学法人の連携

四国5国立大学の共同するデータサイエンス部会を通じて、四国内での情報収集、事業展開を行う。
 四国内の5国立大学法人の連携事業（知プラe事業）に基づき、e-Learning科目として開発した教材を提供し普及する。

連携大学 (各県)

各県のプラットフォーム

県内プラットフォームを通じての県内高等教育機関への普及を展開す

数理・データサイエンス・AIリテラシープログラム 令和3年8月認定

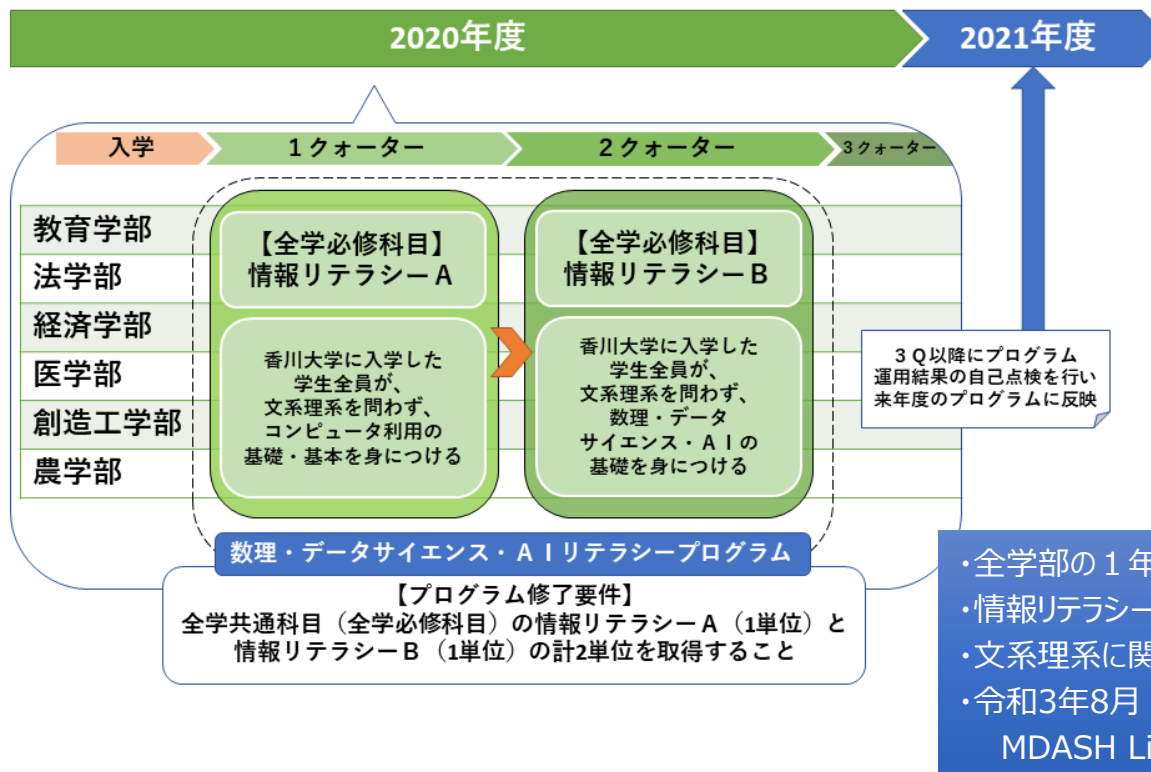
事業計画 数理・データサイエンス・AIリテラシープログラム



香川大学
KAGAWA UNIVERSITY

概要

香川大学の全1年次生を対象とした、数理・データサイエンス・AI教育プログラム
全学必修科目の2科目で構成され、前期授業期間で修了可能（2020年度から提供開始）



数理・データサイエンス・AIリテラシープログラム 令和3年8月認定

**香川大学**
KAGAWA UNIVERSITY

MAP

EN

Q

受験生の方 | 在学生・保護者の方 | 企業・研究機関の方 | 地域の

大学案内 | 学部・大学院、施設 | 入試情報 | 教育研究・産官学連携 | 地域貢献 | 国際交流・留学

[ホーム](#) > [教育研究・産官学連携](#) > [教育](#) > 数理・データサイエンス・AIリテラシープログラム

数理・データサイエンス・AIリテラシープログラム

香川大学では、令和2年度より、全学部1年生を対象とした、リテラシーレベルの数理・データサイエンス・AI教育プログラム「数理・データサイエンス・AIリテラシープログラム」を実施しています。

本プログラムは、文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)」に認定されています。(認定の有効期限:令和8年3月31日まで)

【参考】[文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度\(リテラシーレベル\)」](#)

【参考】[数理・データサイエンス・AIリテラシープログラム 申請書 \(7.02MB\)](#)

<https://www.kagawa-u.ac.jp/research/education/27230/>

数理・データサイエンス・AIリテラシープログラム

令和3年8月認定

授業科目名称	概要	主な学習内容
情報リテラシーA	香川大学に入学する全学生が、早期に身に着けるべき情報リテラシーを学習するために、1年次生対象に開講される必修科目で、座学・演習を組み合わせた授業です。	情報社会に関わる基礎知識、情報セキュリティ、個人情報保護、匿名加工情報、暗号化、パスワード、データの集計・並び替え・ランキング・グラフ等
情報リテラシーB	香川大学に入学する全学生が、文系理系を問わず初年次に身につけるべき数理・データサイエンスの基礎を学習するために、1年次生対象にeラーニングで開講される必修科目です。	データ・AIにおける心得、数理・データサイエンスを活用した地域活性、実社会のデータサイエンスの事例、データの確認と関数の使い方、正規分布、標準偏差、ヒストグラム、回帰分析、統計的仮説検定、機械学習（教師あり学習、教師なし学習）等

各授業科目の概要および学習内容

数理・データサイエンス・AI応用基礎プログラム 令和4年8月認定

概要

数理・データサイエンス・AI応用基礎プログラム



香川大学
KAGAWA UNIVERSITY



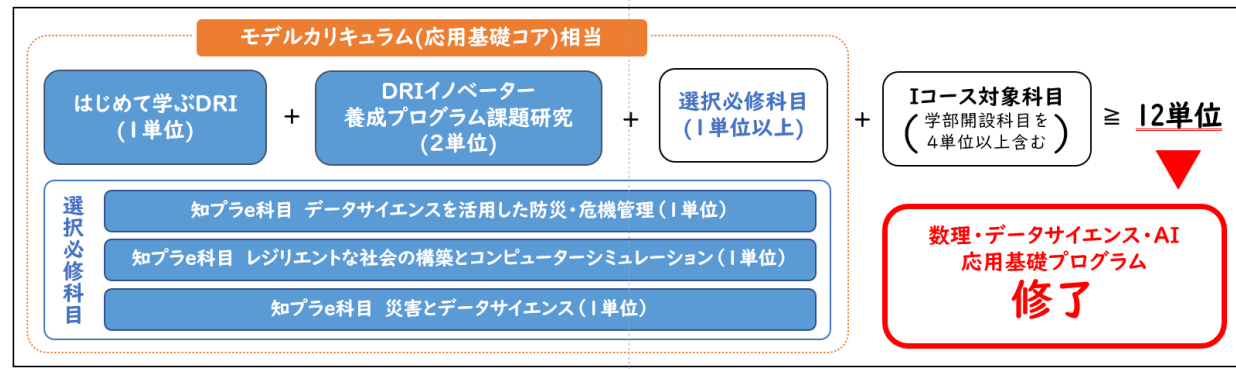
プログラムの目的

デジタル社会を生きるためのインフォマティクス(Informatics)をはじめとする各種能力の獲得を通して、「あらゆる人間が安心して生活できるイノベーションを創造する人材」を育成

プログラム修了要件

本学の副専攻プログラム「DRIイノベーター養成プログラム(Iコース)」を修了すること。具体的には、下記の要件を満たしたうえで、Iコース対象科目(131科目154単位以上)のうち、12単位以上修得すること。

- ①全学共通科目4単位以上、学部開設科目4単位以上を修得していること
- ② Iコースの科目を6単位以上修得していること
- ③必修科目の「はじめて学ぶDRI」と「DRIイノベーター養成プログラム課題研究」を修得していること
- ④選択必修科目「知プラe科目 データサイエンスを活用した防災・危機管理」「知プラe科目 レジリエントな社会の構築とコンピューターシミュレーション」「知プラe科目 災害とデータサイエンス」を1単位以上を修得していること



数理・データサイエンス・AI応用基礎プログラム 令和4年8月認定



https://www.kagawa-u.ac.jp/high-edu/students/dri/mmdsai_program/

数理・データサイエンス・AI応用基礎プログラム 令和4年8月認定

基本的要素	モデルカリキュラム 対応箇所	授業科目名称
(1) データサイエンスとして、統計学を始め様々なデータ処理に関する知識である「数学基礎（統計数理、線形代数、微分積分）」に加え、AIを実現するための手段として「アルゴリズム」、「データ表現」、「プログラミング基礎」の概念や知識の習得を目指す。	1-6. 数学基礎 1-7. アルゴリズム 2-2. データ表現 2-7. プログラミング基礎	知プラe科目 データサイエンスを活用した防災・危機管理 知プラe科目 レジリエントな社会の構築とコンピューターシミュレーション 知プラe科目 災害とデータサイエンス DRIイノベーター養成プログラム課題研究
(2) AIの歴史から多岐に渡る技術種類や応用分野、更には研究やビジネスの現場において実際にAIを活用する際の構築から運用までの一連の流れを知識として習得するAI基礎的なものに加え、「データサイエンス基礎」、「機械学習の基礎と展望」、及び「深層学習の基礎と展望」から構成される。	1-1. データ駆動型社会とデータサイエンス 1-2. 分析設定 2-1. ビッグデータとデータエンジニアリング 3-1. AIの歴史と応用分野 3-2. AIと社会 3-3. 機械学習の基礎と展望 3-4. 深層学習の基礎と展望 3-9. AIの構築と運用	はじめて学ぶDRI（イ） はじめて学ぶDRI（ロ） 知プラe科目 データサイエンスを活用した防災・危機管理 知プラe科目 レジリエントな社会の構築とコンピューターシミュレーション 知プラe科目 災害とデータサイエンス DRIイノベーター養成プログラム課題研究

モデルカリキュラムとの対応

数理・データサイエンス・AI応用基礎プログラム 令和4年8月認定

概要

数理・データサイエンス・AI応用基礎プログラム



プログラムの目的

デジタル社会を生きるためのインフォマティクス(Informatics)をはじめとする各種能力の獲得を通して、「あらゆる人間が安心して生活できるイノベーションを創造する人材」を育成

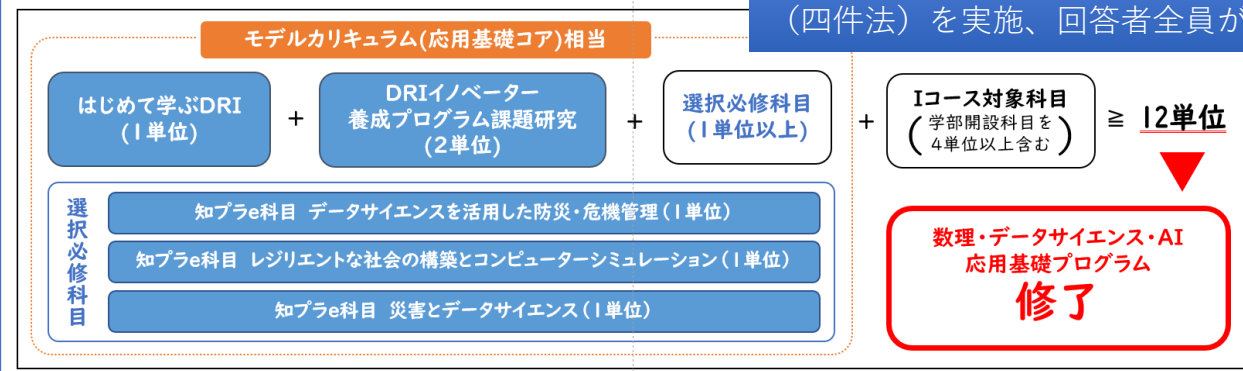
プログラム修了要件

本学の副専攻プログラム「DRIイノベーター養成プログラム(Iコース)」を修了したうえで、Iコース対象科目(131科目154単位以上)のうち、

- ①全学共通科目4単位以上、学部開設科目4単位以上を修得していること
- ② Iコースの科目を6単位以上修得していること
- ③必修科目の「はじめて学ぶDRI」と「DRIイノベーター養成プログラム課題研究」を修得していること
- ④選択必修科目「知プラe科目 データサイエンスを活用した防災・危機管理」「知プラe科目 レジリエントな社会の構築とコンピューターシミュレーション」「知プラe科目 災害とデータサイエンス」のいずれかを修得していること

色々な分野において「見える化」を可能にしており、これは事故防止や観光地の発展、高齢者の見守りなど幅広く活用できるため大きな役割を果たしていると思う。

後輩等他の学生への推奨度に関するアンケート(四件法)を実施、回答者全員が推奨すると回答



本学での県内展開

- 1) 県内 大学等へ コンソーシアムへの会員校参加呼びかけ
- 2) 数理・データサイエンス・AIリテラシープログラム応募へのサポート



令和4年8月 会員校 承認



出典：<https://eft.jp/navi/267/>



以上です

ご清聴有難うございました。